

# 経済学研究科

# 研究指導概要

## 博士前期課程・経済学専攻

### 1. 各セメスタの指導内容（モデルケース）

#### 1 セメスタ

- ・主・副指導教授との協議に基づき、研究テーマ仮設定。
- ・論文題目に合わせ、基礎科目、専門科目の履修指導を受ける。
- ・研究計画の作成を開始し、調査、実験等の研究方法論を修得する。

#### 2 セメスタ

- ・指導教員と協議しつつ研究計画を完成させ、論文・データなどのサーヴェイを進展させる。
- ・確定した研究テーマについて、論文発表会にて計画を発表（10-12月）。

#### 3 セメスタ

- ・研究計画に基づき、指導教員の指導に基づき分析・考察を深める。
- ・可能であれば、研究の主要部分について学会発表、学会誌投稿、大学院紀要投稿を行う。
- ・論文発表会にて論文の進捗状況を発表（5-7月）。

#### 4 セメスタ

- ・可能であれば、研究の主要部分について学会発表、学会誌投稿を行う。
- ・修士論文執筆、取りまとめ。
- ・論文発表会にて修士論文の概要を発表（12月）。
- ・修士論文を提出、審査。

### 2. 論文報告会（論文発表会）等の概要と発表の要件等（モデルケース）

第2セメスタに、研究計画を発表（10-12月）。

第3セメスタに、研究の進捗状況を発表（5-7月）。

第4セメスタに、修士論文の概要を発表（12月）。

## 修士課程・公民連携専攻

### 1. 各セメスタの指導内容

#### 1 セメスタ

- ・1セメスタにおいて、主・副指導教授との協議に基づき、研究テーマを仮設定する。
- ・研究テーマに合わせて、履修する授業科目の履修指導を受け、研究を実施する基礎的能力を高める。

#### 2 セメスタ

- ・研究テーマに合わせて、履修する授業科目の履修指導を受け、研究を実施する基礎的能力を高める。

#### 3 セメスタ

- ・主・副指導教員と協議しつつ研究計画を制作し、分析・考察を進める。

#### 4 セメスタ

- ・論文報告会等を機会として活用しつつ、具体的に論文執筆を進める。

### 2. 論文報告会（論文発表会）等の概要と発表の要件等

第4セメスタの開始後速やかに中間報告会を開催する。

第4セメスタの終了前に最終報告会を開催する。

中間報告会、最終報告会には教員のほか院生も参加し、幅広い観点からの意見を反映できるようにするものとする。

## 博士後期課程

### 1. 各セメスタの指導内容（モデルケース）

#### 1 セメスタ

- ・主・副指導教授との協議に基づき、研究テーマ仮設定。
- ・研究計画の作成開始。

#### 2 セメスタ

- ・研究テーマ確定、研究計画の策定、論文発表会にて計画発表（10-12月）。

#### 3 セメスタ

- ・研究の主要部分1を取りまとめ、学会発表、ジャーナル誌投稿。
- ・論文発表会にて論文の一部を発表（5-7月）。

#### 4 セメスタ

- ・研究の主要部分2を取りまとめ、学会発表、ジャーナル誌投稿。
- ・論文発表会にて研究の進捗状況及び論文の一部を発表（10-12月）。

#### 5 セメスタ

- ・研究の主要部分3を取りまとめ、学会発表、ジャーナル誌投稿。
- ・研究の主要部分のいずれかについて、大学院紀要に投稿。
- ・博士論文報告会にて論文の全体像を発表（5-7月）。
- 6月末までに主指導教授が事前審査委員会設置申請書を研究科委員会に提出。
- 7月の研究科委員会で事前審査委員会設置を審議。

#### 6 セメスタ

- 10月の研究科委員会で事前審査報告。
- ・博士論文をとりまとめ、提出。
- ・博士論文を審査、（副査を1名以上追加）。

### 2. 論文報告会（論文発表会）等の概要と発表の要件等（モデルケース）

第2セメスタに、研究計画を発表（10-12月）。

第4セメスタに、研究の進捗状況及び論文の一部を発表（10-12月）。

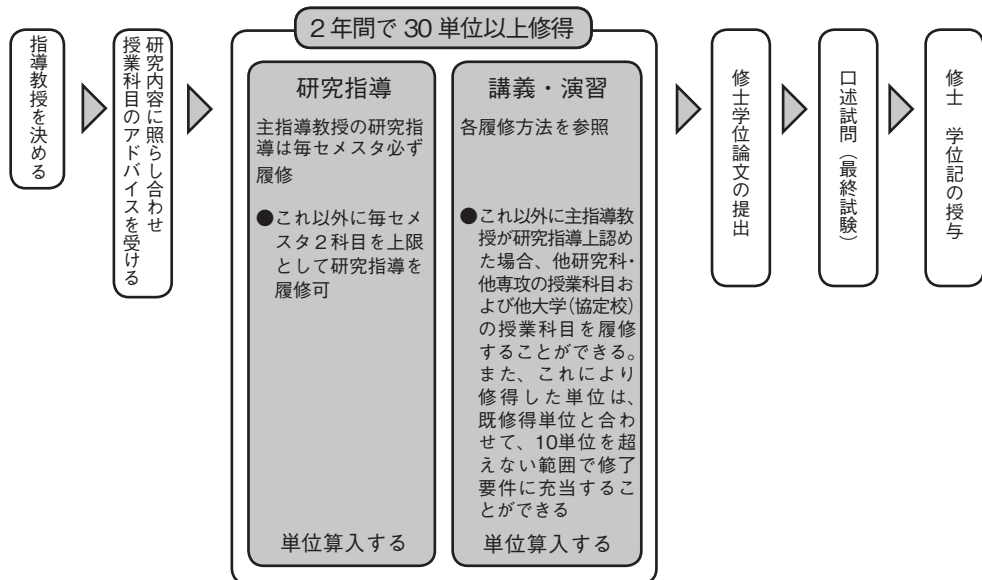
第5セメスタに、博士論文報告会にて論文の全体像を発表（5-7月）。

（第5セメスタの博士論文報告会は、博士論文の提出要件）

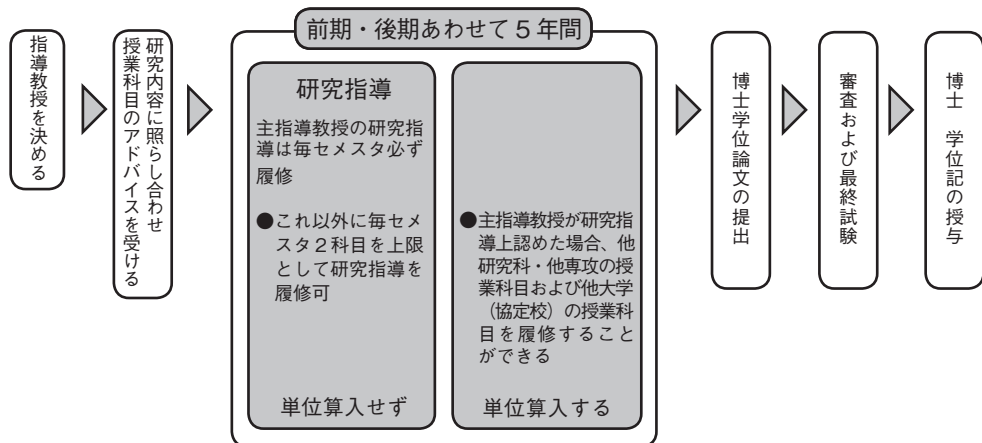


# 経済学専攻

## 前期課程 履修の流れ



## 後期課程 履修の流れ



※本専攻では、授業内容の理解や自身の研究を一層深めるために、授業及び研究指導の一環として、海外における調査・研究や学会への参加・発表を奨励しています。

# 経済学専攻

博士前期課程 (2018年度以降入学生)

分類	授業科目・研究指導	単位	科目ナンバリング	学期	講義・演習の別	職名	担当教員	備考		
基礎科目	総合演習 A	1	SEM601	春秋	演習	教授	竹澤康子	必修科目(2019年度以降入学生) ※2018年度以前入学生は選択科目として履修可		
	総合演習 B	1	SEM602	春秋	演習	教授	竹澤康子			
	ミクロ経済学 A	2	ECT601	春秋	講義	教授	佐々木啓介			
	マクロ経済学 A	2	ECT602	春秋	講義	教授	佐々木啓介			
	マクロ経済学 B	2	ECT603	春秋	講義	教授	斎藤孝			
	統計・計量経済学 A	2	ECT604	春秋	講義	教授	斎藤孝			
専門科目	統計・計量経済学 B	2	ECS601	春秋	講義	非常勤講師	小林正人			
	統計・計量経済学 B	2	ECS602	春秋	講義	非常勤講師	小林正人			
	政策・経済史領域	財政学 A	2	PFP601	春秋	講義	教授	大野裕之		
		財政学 B	2	PFP602	春秋	講義	教授	大野裕之		
		金融論 A	2	MOF601	春秋	講義	教授	竹澤康子		
		金融論 B	2	MOF602	春秋	講義	教授	竹澤康子		
		日本経済史 A	2	ECH601	春秋	講義	教授	島西智輝		
		日本経済史 B	2	ECH602	春秋	講義	教授	島西智輝		
	グローバル・エコノミー領域	西欧経済史 A	2	ECH603		講義			本年度休講	
		西欧経済史 B	2	ECH604		講義			本年度休講	
		経済発展論 A	2	ECP601	春秋	講義	教授	藤井信幸		
		経済発展論 B	2	ECP602	春秋	講義	教授	藤井信幸		
		国際経済 A	2	ECP603		講義			本年度休講	
		国際経済 B	2	ECP604		講義			本年度休講	
		国際経済論 A	2	ECP605	春秋	講義	教授	郝仁平		
		国際経済論 B	2	ECP606	春秋	講義	教授	郝仁平		
		国際金融論 A	2	MOF603	春秋	講義	教授	棟近みどり		
		国際金融論 B	2	MOF604	春秋	講義	教授	棟近みどり		
		アジア経済 A	2	ARS601	春秋	講義	教授	中川利香		
		アジア経済 B	2	ARS602	春秋	講義	教授	中川利香		
		北米経済 A	2	ARS603	春秋	講義	教授	栗原武美子		
		北米経済 B	2	ARS604	春秋	講義	教授	栗原武美子		
		産業デザイン領域	中小企業論 A	2	ECP607	春秋	講義	教授	安田武彦	
			中小企業論 B	2	ECP608	春秋	講義	教授	安田武彦	
産業組織論 A			2	ECP609	春秋	講義	教授	吉田明子		
産業組織論 B			2	ECP610	春秋	講義	教授	吉田明子		
企業経済学 A	2		ECP611		講義			本年度休講		
企業経済学 B	2		ECP612		講義			本年度休講		
起業の経済学 A	2		ECP613	春秋	講義	准教授	川上淳之			
起業の経済学 B	2		ECP614	春秋	講義	准教授	川上淳之			
情報経済 A	2		ECT605	春秋	講義	准教授	生貝直人			
情報経済 B	2		ECT606	春秋	講義	准教授	生貝直人			
労働社会保険領域	社会経済システム A		2	ECP615	春秋	講義	教授	中澤克佳		
	社会経済システム B		2	ECP616	春秋	講義	教授	中澤克佳		
	社会保険 A	2	PFP603	春秋	講義	教授	川瀬晃弘			
	社会保険 B	2	PFP604	春秋	講義	教授	川瀬晃弘			
	労働経済 A	2	PFP605	春秋	講義	准教授	久米功一			
	労働経済 B	2	PFP606	春秋	講義	准教授	久米功一			
環境経済・政策領域	環境経済 A	2	ECP617	春秋	講義	教授(兼任)	小川芳樹			
	環境経済 B	2	ECP618	春秋	講義	教授(兼任)	小川芳樹			
	廃棄物政策 A	2	EPS601		講義			本年度休講		
	廃棄物政策 B	2	EPS602		講義			本年度休講		
	公害対策論 A	2	EPS603	春秋	講義	教授	鈴木孝弘			
	公害対策論 B	2	EPS604	春秋	講義	教授	鈴木孝弘			
研究指導	環境評価論 A	2	EPS605	春秋	講義	教授	清田佳美			
	環境評価論 B	2	EPS606	春秋	講義	教授	清田佳美			
	研究指導 I A	2	REG601	春秋		教授	佐々木啓介			
	研究指導 I B	2	REG602	春秋		教授	佐々木啓介			
	研究指導 II A	2	REG603	春秋		教授	斎藤孝			
	研究指導 II B	2	REG604	春秋		教授	斎藤孝			
	研究指導 III A	2	REG605	春秋		教授	鈴木孝弘			
	研究指導 III B	2	REG606	春秋		教授	鈴木孝弘			
研究指導 IV A	2	REG607	春秋		教授	隅田和人				
研究指導 IV B	2	REG608	春秋		教授	隅田和人				

分類	授業科目・研究指導	単位	科目 ナンバリング	学期	講義・ 演習の 別	職名	担当教員	備考
研究指導	研究指導 V A	2	REG609	春秋		教授	大野裕之	
	研究指導 V B	2	REG610	春秋				
	研究指導 VI A	2	REG611	春秋		教授	竹澤康子	
	研究指導 VI B	2	REG612	春秋				
	研究指導 VII A	2	REG613	春秋		教授	吉田明子	
	研究指導 VII B	2	REG614	春秋				
	研究指導 VIII A	2	REG615	春秋		教授	島西智輝	
	研究指導 VIII B	2	REG616	春秋				
	研究指導 IX A	2	REG617	春秋		教授	藤井信幸	
	研究指導 IX B	2	REG618	春秋				
	研究指導 X A	2	REG619					本年度休講
	研究指導 X B	2	REG620					
	研究指導 X I A	2	REG621	春秋		教授	中川利香	
	研究指導 X I B	2	REG622	春秋				
	研究指導 X II A	2	REG623	春秋		教授	郝仁平	
	研究指導 X II B	2	REG624	春秋				
	研究指導 X III A	2	REG625	春秋		教授	道重一郎	
	研究指導 X III B	2	REG626	春秋				
	研究指導 X IV A	2	REG627	春秋		教授	棟近みどり	
	研究指導 X IV B	2	REG628	春秋				
	研究指導 X V A	2	REG629					本年度休講
	研究指導 X V B	2	REG630					
	研究指導 X VI A	2	REG631	春秋		教授	安田武彦	
	研究指導 X VI B	2	REG632	春秋				
	研究指導 X VII A	2	REG633	春秋		准教授	生貝直人	
	研究指導 X VII B	2	REG634	春秋				
	研究指導 X VIII A	2	REG635	春秋		教授	中澤克佳	
	研究指導 X VIII B	2	REG636	春秋				
	研究指導 X IX A	2	REG637	春秋		准教授	久米功一	
	研究指導 X IX B	2	REG638	春秋				
	研究指導 X X A	2	REG639	春秋		教授	川瀬晃弘	
	研究指導 X X B	2	REG640	春秋				
研究指導 X X I A	2	REG641	春秋		教授	清田佳美		
研究指導 X X I B	2	REG642	春秋					
研究指導 X X II A	2	REG643	春秋		教授	栗原武美子		
研究指導 X X II B	2	REG644	春秋					
研究指導 X X III A	2	REG645					本年度休講	
研究指導 X X III B	2	REG646						
研究指導 X X IV A	2	REG647	春秋		准教授	川上淳之		
研究指導 X X IV B	2	REG648	春秋					

### 修了に必要な単位等

- 1) 修了要件となる科目で30単位以上修得すること。
- 2) 主指導教授の「研究指導」を、毎セメスタ必ず履修すること。主指導教授の「研究指導」の単位のうち修了要件の単位への算入は8単位を上限とする。
- 3) 副指導教授の「研究指導」を、在学中2セメスタ以上履修すること（2014年度以前入学生は在学中1回以上履修すること）。ただし、副指導教授の「研究指導」の単位のうち修了要件の単位への算入は4単位を上限とする。
- 4) (2019年度以降入学生適用) 基礎科目「総合演習A」および「総合演習B」を修得すること。

### 履修方法

1. 履修する授業科目は、指導教授の指示を受けて決定すること。
2. 指導教授は、主指導教授1名・副指導教授1名の計2名とする。ただし、主指導教授の判断により、副指導教授が2名となる場合がある。「研究指導」は、セメスタ毎に3科目（主指導教授1名・副指導教授2名）を上限として、履修・単位修得することができる。
3. 「講義」は、在学中1回のみ履修・単位修得することができる。
4. 本表に掲げたものの他、指導教授が教育上必要と認めるときは、学則第8条に基づき、本大学院の他研究科・専攻の授業科目および他大学（協定校）の授業科目を履修することができる（同一科目は1回目のみ修了要件として扱い、2回目以降の履修によって修得した成績及び単位は認定されるが、修了要件としては扱わない）。また、上記により履修し修得した単位は、学則第10条の2に基づく、本大学院に入学する前に修得し、本大学院における授業科目の履修により修得したものとみなす単位（既修得単位）と合わせて、10単位を超えない範囲で修了要件に充当することができる。
5. 「領域」は履修の目安であり、複数の領域にまたがって授業科目を履修することはさしつかえない。

博士前期課程〔経済学コース〕(2017年度入学生まで)

	授業科目・研究指導	単位	科目 ナンバリング	学期	講義・演習 の別	職名	担当教員	備考		
基礎科目	総合演習 A	1	SEM601	春秋	演習	教授	竹澤康子			
	総合演習 B	1	SEM602	春秋	演習	教授	竹澤康子			
	ミクロ経済学 A	2	ECT601	春秋	講義	教授	佐々木啓介			
	ミクロ経済学 B	2	ECT602	春秋	講義	教授	佐々木啓介			
	マクロ経済学 A	2	ECT603	春秋	講義	教授	斎藤孝			
	マクロ経済学 B	2	ECT604	春秋	講義	教授	斎藤孝			
	統計・計量経済学 A	2	ECS601	春秋	講義	非常勤講師	小林正人			
	統計・計量経済学 B	2	ECS602	春秋	講義	非常勤講師	小林正人			
専門科目	理論・政策領域	財政学 A	2	PFP601	春秋	講義	教授	大野裕之		
		財政学 B	2	PFP602	春秋	講義	教授	大野裕之		
		金融論 A	2	MOF601	春秋	講義	教授	竹澤康子		
		金融論 B	2	MOF602	春秋	講義	教授	竹澤康子		
		産業組織 A	2	ECP601	春秋	講義	教授	吉田明子		
		産業組織 B	2	ECP602	春秋	講義	教授	吉田明子		
		日本経済史 A	2	ECH601	春秋	講義	教授	島西智輝		
		日本経済史 B	2	ECH602	春秋	講義	教授	島西智輝		
		西欧経済史 A	2	ECH603	春秋	講義			本年度休講	
		西欧経済史 B	2	ECH604	春秋	講義			本年度休講	
		経済発展論 A	2	ECP603	春秋	講義	教授	藤井信幸		
		経済発展論 B	2	ECP604	春秋	講義	教授	藤井信幸		
	グローバル・エコノミー領域	国際経済 A	2	ECP605	春秋	講義			本年度休講	
		国際経済 B	2	ECP606	春秋	講義			本年度休講	
		開発経済論 A	2	ECP607	春秋	講義	教授	郝仁平		
		開発経済論 B	2	ECP608	春秋	講義	教授	郝仁平		
		アジア経済 A	2	ARS601	春秋	講義	教授	中川利香		
		アジア経済 B	2	ARS602	春秋	講義	教授	中川利香		
		国際金融論 A	2	MOF603	春秋	講義	教授	棟近みどり		
		国際金融論 B	2	MOF604	春秋	講義	教授	棟近みどり		
		社会経済史 A	2	ECH605	春秋	講義	教授	栗原武美子		
		社会経済史 B	2	ECH606	春秋	講義	教授	栗原武美子		
		産業・金融領域	中小企業論 A	2	ECP609	春秋	講義	教授	安田武彦	
			中小企業論 B	2	ECP610	春秋	講義	教授	安田武彦	
情報経済 A	2		ECT605	春秋	講義	准教授	生貝直人			
情報経済 B	2		ECT606	春秋	講義	准教授	生貝直人			
産業クラスター論 A	2		ECP611	春秋	講義	准教授	川上淳之			
産業クラスター論 B	2		ECP612	春秋	講義	准教授	川上淳之			
企業金融論 A	2		MOF607	春秋	講義			本年度休講		
企業金融論 B	2		MOF608	春秋	講義			本年度休講		
生活経済領域	社会経済システム A	2	ECP613	春秋	講義	教授	中澤克佳			
	社会経済システム B	2	ECP614	春秋	講義	教授	中澤克佳			
	労働経済 A	2	PFP603	春秋	講義	准教授	久米功一			
	労働経済 B	2	PFP604	春秋	講義	准教授	久米功一			
	環境経済 A	2	ECP615	春秋	講義	教授(兼任)	小川芳樹			
	環境経済 B	2	ECP616	春秋	講義	教授(兼任)	小川芳樹			
研究指導	社会保障 A	2	PFP605	春秋	講義	教授	川瀬晃弘			
	社会保障 B	2	PFP606	春秋	講義	教授	川瀬晃弘			
	研究指導 I A	2	REG601	春秋		教授	佐々木啓介			
	研究指導 I B	2	REG602	春秋		教授	佐々木啓介			
	研究指導 II A	2	REG603	春秋		教授	斎藤孝			
	研究指導 II B	2	REG604	春秋		教授	斎藤孝			
研究指導 IV A	2	REG607	春秋		教授	隅田和人				
研究指導 IV B	2	REG608	春秋		教授	隅田和人				



	授業科目・研究指導	単位	相 番 ナンバリング	学期	講義・ 演習の 別	職 名	担当教員	備考
研究指導	研究指導 V A	2	REG609	春秋		教授	大野裕之	
	研究指導 V B	2	REG610	春秋				
	研究指導 VI A	2	REG611	春秋		教授	竹澤康子	
	研究指導 VI B	2	REG612	春秋				
	研究指導 VII A	2	REG613	春秋		教授	吉田明子	
	研究指導 VII B	2	REG614	春秋				
	研究指導 VIII A	2	REG615	春秋		教授	島西智輝	
	研究指導 VIII B	2	REG616	春秋				
	研究指導 IX A	2	REG617	春秋		教授	藤井信幸	
	研究指導 IX B	2	REG618	春秋				
	研究指導 X A	2	REG619					本年度休講
	研究指導 X B	2	REG620					
	研究指導 XI A	2	REG621	春秋		教授	中川利香	
	研究指導 XI B	2	REG622	春秋				
	研究指導 XII A	2	REG623	春秋		教授	郝仁平	
	研究指導 XII B	2	REG624	春秋				
	研究指導 XIII A	2	REG625	春秋		教授	道重一郎	
	研究指導 XIII B	2	REG626	春秋				
	研究指導 XIV A	2	REG627	春秋		教授	棟近みどり	
	研究指導 XIV B	2	REG628	春秋				
	研究指導 XVI A	2	REG631	春秋		教授	安田武彦	
	研究指導 XVI B	2	REG632	春秋				
研究指導 XVII A	2	REG633	春秋		准教授	生貝直人		
研究指導 XVII B	2	REG634	春秋					
研究指導 XVIII A	2	REG635	春秋		教授	中澤克佳		
研究指導 XVIII B	2	REG636	春秋					
研究指導 XIX A	2	REG637	春秋		准教授	久米功一		
研究指導 XIX B	2	REG638	春秋					
研究指導 XX A	2	REG639	春秋		教授	川瀬晃弘		
研究指導 XX B	2	REG640	春秋					
研究指導 XXI A	2	REG641					本年度休講	
研究指導 XXI B	2	REG642						

### 修了に必要な単位等

- 1) 修了要件となる科目で30単位以上修得すること。
- 2) 主指導教授の「研究指導」を、毎セメスタ必ず履修すること。主指導教授の「研究指導」の単位のうち修了要件の単位への算入は8単位を上限とする。
- 3) 副指導教授の「研究指導」を、在学中2セメスタ以上履修すること（2014年度以前入学生は在学中1回以上履修すること）。ただし、副指導教授の「研究指導」の単位のうち修了要件の単位への算入は4単位を上限とする。

### 履修方法

1. 履修する授業科目は、指導教授の指示を受けて決定すること。
2. 指導教授は、主指導教授1名・副指導教授1名の計2名とする。ただし、主指導教授の判断により、副指導教授が2名となる場合がある。「研究指導」は、セメスタ毎に3科目（主指導教授1名・副指導教授2名）を上限として、履修・単位修得することができる。
3. 「講義」は、在学中1回のみ履修・単位修得することができる。
4. 経済学専攻内他コースの授業科目も履修することができる。この場合、事前に科目担当者の許可を得ること。この単位は、修了要件の単位に充当する。
5. 本表に掲げたもの他、指導教授が教育上必要と認めるときは、学則第8条に基づき、本大学院の他研究科・専攻の授業科目および他大学（協定校）の授業科目を履修することができる（同一科目は1回目のみ修了要件として扱い、2回目以降の履修によって修得した成績及び単位は認定されるが、修了要件としては扱わない）。また、上記により履修し修得した単位は、学則第10条の2に基づく、本大学院に入学する前に修得し、本大学院における授業科目の履修により修得したものとみなす単位（既修得単位）と合わせて、10単位を超えない範囲で修了要件に充当することができる。
6. 「領域」は履修の目安であり、複数の領域にまたがって授業科目を履修することはさしつかえない。

博士前期課程〔環境コース〕(2017年度入学生まで)

	授業科目・ 研究指導	単位	相 ナンバリング	学期	講義・ 演習の別	職名	担当教員	備考
基礎科目	総合演習 A	1	SEM601	春秋	演習	教授	竹澤 康子	
	総合演習 B	1	SEM602	春秋	演習	教授	竹澤 康子	
	ミクロ経済学 A	2	ECT601	春秋	講義	教授	佐々木 啓介	
	ミクロ経済学 B	2	ECT602	春秋	講義	教授	佐々木 啓介	
	統計・計量経済学 A	2	ECS601	春秋	講義	非常勤講師	小林 正人	
統計・計量経済学 B	2	ECS602	春秋	講義	非常勤講師	小林 正人		
専門科目	環境経済学 A	2	ECP601	春秋	講義	教授(兼任)	小川 芳樹	
	環境経済学 B	2	ECP602	春秋	講義	教授(兼任)	小川 芳樹	
	廃棄物政策 A	2	EPS602		講義			本年度休講
	廃棄物政策 B	2	EPS603		講義			本年度休講
	公害対策論 A	2	EPS605	春秋	講義	教授	鈴木 孝弘	
	公害対策論 B	2	EPS606	春秋	講義	教授	鈴木 孝弘	
	環境評価論 A	2	EPS608	春秋	講義	教授	清田 佳美	
	環境評価論 B	2	EPS609	春秋	講義	教授	清田 佳美	
	財政学 A	2	PFP601	春秋	講義	教授	大野 裕之	
財政学 B	2	PFP602	春秋	講義	教授	大野 裕之		
研究指導	研究指導 I A	2	REG601	春秋		教授	鈴木 孝弘	
	研究指導 I B	2	REG602	春秋		教授	鈴木 孝弘	
	研究指導 III A	2	REG605					本年度休講
	研究指導 III B	2	REG606					本年度休講
	研究指導 V A	2	REG609	春秋		教授	清田 佳美	
	研究指導 V B	2	REG610	春秋		教授	清田 佳美	

修了に必要な単位等

- 1) 修了要件となる科目で30単位以上修得すること。
- 2) 主指導教授の「研究指導」を、毎セメスタ必ず履修すること。主指導教授の「研究指導」の単位のうち修了要件の単位への算入は8単位を上限とする。5セメスタ以降(長期履修学生および原級した場合等)の履修・聴講は、成績及び単位は認定されるが、修了要件としては扱わない。
- 3) 副指導教授の「研究指導」を、在学中2セメスタ以上履修すること。ただし、副指導教授の「研究指導」の単位のうち修了要件の単位への算入は4単位を上限とする。

履修方法

1. 履修する授業科目は、指導教授の指示を受けて決定すること。
2. 指導教授は、主指導教授1名・副指導教授1名の計2名とする。ただし、主指導教授の判断により、副指導教授が2名となる場合がある。「研究指導」は、セメスタ毎に3科目(主指導教授1名・副指導教授2名)を上限として、履修・単位修得することができる。
3. 「講義」は、在学中1回のみ履修・単位修得することができる。
4. 経済学専攻内他コースの授業科目も履修することができる。この場合、事前に科目担当者の許可を得ること。この単位は、修了要件の単位に充当する。
5. 本表に掲げたものの他、指導教授が教育上必要と認めるときは、学則第8条に基づき、本大学院の他研究科・専攻の授業科目および他大学(協定校)の授業科目を履修することができる(同一科目は1回目のみ修了要件として扱い、2回目以降の履修によって修得した成績及び単位は認定されるが、修了要件としては扱わない)。また、上記により履修し修得した単位は、学則第10条の2に基づく、本大学院に入学する前に修得し、本大学院における授業科目の履修により修得したものとみなす単位(既修得単位)と合わせて、10単位を超えない範囲で修了要件に充当することができる。

## 博士後期課程

授業科目・研究指導	単位	相 ナンバー	学期	講義・ 演習の 別	職名	担当教員	備考
研究指導 I A		REG701	春秋		教授	佐々木 啓 介	
研究指導 I B		REG702	春秋		教授	佐々木 啓 介	
研究指導 II A		REG703	春秋		教授	郝 仁 平	
研究指導 II B		REG704	春秋		教授	郝 仁 平	
研究指導 III A		REG705	春秋		教授	隅 田 和 人	
研究指導 III B		REG706	春秋		教授	隅 田 和 人	
研究指導 IV A		REG707	春秋		教授	大 野 裕 之	
研究指導 IV B		REG708	春秋		教授	大 野 裕 之	
研究指導 V A		REG709	春秋		教授	竹 澤 康 子	
研究指導 V B		REG710	春秋		教授	竹 澤 康 子	
研究指導 VI A		REG711	春秋		教授	中 北 徹	
研究指導 VI B		REG712	春秋		教授	中 北 徹	
研究指導 VII A		REG713	春秋		教授	道 重 一 郎	
研究指導 VII B		REG714	春秋		教授	道 重 一 郎	
研究指導 VIII A		REG715	春秋		教授	中 川 利 香	
研究指導 VIII B		REG716	春秋		教授	中 川 利 香	
研究指導 IX A		REG717	春秋		准教授	生 貝 直 人	
研究指導 IX B		REG718	春秋		准教授	生 貝 直 人	
研究指導 X A		REG719	春秋		教授	島 西 智 輝	
研究指導 X B		REG720	春秋		教授	島 西 智 輝	
研究指導 XI A		REG721	春秋		教授	松 原 聡	
研究指導 XI B		REG722	春秋		教授	松 原 聡	
研究指導 XII A		REG723	春秋		教授	川 瀬 晃 弘	
研究指導 XII B		REG724	春秋		教授	川 瀬 晃 弘	
研究指導 XIII A		REG725	春秋		教授	鈴 木 孝 弘	
研究指導 XIII B		REG726	春秋		教授	鈴 木 孝 弘	
研究指導 XIV A		REG727	春秋		教授	小 川 芳 樹	
研究指導 XIV B		REG728	春秋		教授	小 川 芳 樹	
研究指導 XV A		REG729					本年度休講
研究指導 XV B		REG730					

### 修了に必要な単位等

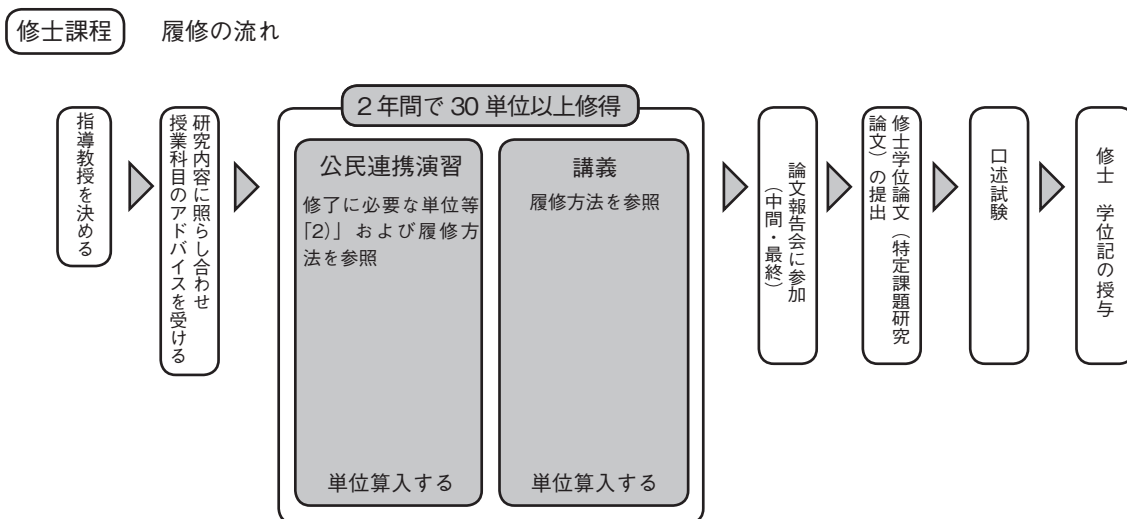
主指導教授の「研究指導」を、毎セメスタ必ず履修すること。

### 履修方法

- 履修する授業科目は、指導教授の指示を受けて決定すること。
- 指導教授は、主指導教授1名・副指導教授1名の計2名とする。ただし、主指導教授の判断により、副指導教授が2名となる場合がある。「研究指導」は、セメスタ毎に3科目（主指導教授1名・副指導教授2名）を上限として、履修・修得することができる。
- 本表に掲げたものの他、指導教授が研究指導上必要と認めた場合は、本大学院の他研究科・専攻の授業科目および他大学（協定校）の授業科目を履修することができる。



# 公民連携専攻



※本専攻では、授業内容の理解や自身の研究を一層深めるために、授業及び研究指導の一環として、海外における調査・研究や学会への参加・発表を奨励しています。

# 公民連携専攻

## 修士課程

	授業科目・研究指導	相 ナシ	単位		講義・ 演習の別	英語	職 名	担当教員	備 考
			春	秋					
1 セメスタ 対象	公民連携演習Ⅰ①	REG601	2	2	演習		教授	中山 徹	
	公民連携演習Ⅰ②	REG602	2	2	演習		客員教授	北田 大	
	公民連携演習Ⅰ③	REG603	2	2	演習		准教授	松崎 大	本年度休講
	公民連携演習Ⅰ④	REG604			演習				
	公民連携演習Ⅰ⑤	REG605	2	2	演習		客員教授	川崎 一	
	公民連携演習Ⅰ⑥	REG606	2	2	演習		教授	根本 祐	
	公民連携演習Ⅰ⑦	REG607	2	2	演習		客員教授	関 幸	
	公民連携演習Ⅰ⑧	REG608	2	2	演習	*4	教授	サ ム	
	公民連携演習Ⅰ⑨	REG609	2	2	演習		客員教授	金谷 隆	
	公民連携演習Ⅰ⑩	REG610	2	2	演習		客員教授	南 正	
	公民連携演習Ⅰ⑪	REG611	2	2	演習		教授	根本 祐	[遠隔専門]
	公民連携演習Ⅰ⑫	REG612	2	2	演習		客員教授	五十嵐 誠	
	公民連携演習Ⅰ⑬	REG613	2	2	演習	*1	教授	小川 芳	
	公民連携演習Ⅰ⑭	REG614	2	2	演習	*4	客員教授	美原 融	
	公民連携演習Ⅰ⑮	REG657	2	2	演習		特任准教授	難波 悠	
	公民連携演習Ⅰ⑯	REG661	2	2	演習		准教授	井上 武	
2 セメスタ 対象	公民連携演習Ⅱ①	REG615	2	2	演習		教授	中山 徹	
	公民連携演習Ⅱ②	REG616	2	2	演習		客員教授	北田 大	
	公民連携演習Ⅱ③	REG617	2	2	演習		准教授	松崎 大	本年度休講
	公民連携演習Ⅱ④	REG618			演習				
	公民連携演習Ⅱ⑤	REG619	2	2	演習		客員教授	川崎 一	
	公民連携演習Ⅱ⑥	REG620	2	2	演習		教授	根本 祐	
	公民連携演習Ⅱ⑦	REG621	2	2	演習		客員教授	関 幸	
	公民連携演習Ⅱ⑧	REG622	2	2	演習	*4	教授	サ ム	
	公民連携演習Ⅱ⑨	REG623	2	2	演習		客員教授	金谷 隆	
	公民連携演習Ⅱ⑩	REG624	2	2	演習		客員教授	南 正	
	公民連携演習Ⅱ⑪	REG625	2	2	演習		教授	根本 祐	[遠隔専門]
	公民連携演習Ⅱ⑫	REG626	2	2	演習		客員教授	五十嵐 誠	
	公民連携演習Ⅱ⑬	REG627	2	2	演習	*1	教授	小川 芳	
	公民連携演習Ⅱ⑭	REG628	2	2	演習	*4	客員教授	美原 融	
	公民連携演習Ⅱ⑮	REG658	2	2	演習		特任准教授	難波 悠	
	公民連携演習Ⅱ⑯	REG662	2	2	演習		准教授	井上 武	
3 セメスタ 対象	公民連携演習Ⅲ①	REG629	2	2	演習		教授	中山 徹	
	公民連携演習Ⅲ②	REG630	2	2	演習		客員教授	北田 大	
	公民連携演習Ⅲ③	REG631	2	2	演習		准教授	松崎 大	本年度休講
	公民連携演習Ⅲ④	REG632			演習				
	公民連携演習Ⅲ⑤	REG633	2	2	演習		客員教授	川崎 一	
	公民連携演習Ⅲ⑥	REG634	2	2	演習		教授	根本 祐	
	公民連携演習Ⅲ⑦	REG635	2	2	演習		客員教授	関 幸	
	公民連携演習Ⅲ⑧	REG636	2	2	演習	*4	教授	サ ム	
	公民連携演習Ⅲ⑨	REG637	2	2	演習		客員教授	金谷 隆	
	公民連携演習Ⅲ⑩	REG638	2	2	演習		客員教授	南 正	
	公民連携演習Ⅲ⑪	REG639	2	2	演習		教授	根本 祐	[遠隔専門]
	公民連携演習Ⅲ⑫	REG640	2	2	演習		客員教授	五十嵐 誠	
	公民連携演習Ⅲ⑬	REG641	2	2	演習	*1	教授	小川 芳	
	公民連携演習Ⅲ⑭	REG642	2	2	演習	*4	客員教授	美原 融	
	公民連携演習Ⅲ⑮	REG659	2	2	演習		特任准教授	難波 悠	
	公民連携演習Ⅲ⑯	REG663	2	2	演習		准教授	井上 武	
4 セメスタ 対象	公民連携演習Ⅳ①	REG643	2	2	演習		教授	中山 徹	
	公民連携演習Ⅳ②	REG644	2	2	演習		客員教授	北田 大	
	公民連携演習Ⅳ③	REG645	2	2	演習		准教授	松崎 大	本年度休講
	公民連携演習Ⅳ④	REG646			演習				
	公民連携演習Ⅳ⑤	REG647	2	2	演習		客員教授	川崎 一	
	公民連携演習Ⅳ⑥	REG648	2	2	演習		教授	根本 祐	
	公民連携演習Ⅳ⑦	REG649	2	2	演習		客員教授	関 幸	
	公民連携演習Ⅳ⑧	REG650	2	2	演習	*4	教授	サ ム	
	公民連携演習Ⅳ⑨	REG651	2	2	演習		客員教授	金谷 隆	
	公民連携演習Ⅳ⑩	REG652	2	2	演習		客員教授	南 正	
	公民連携演習Ⅳ⑪	REG653	2	2	演習		教授	根本 祐	[遠隔専門]
	公民連携演習Ⅳ⑫	REG654	2	2	演習		客員教授	五十嵐 誠	
	公民連携演習Ⅳ⑬	REG655	2	2	演習	*1	教授	小川 芳	
	公民連携演習Ⅳ⑭	REG656	2	2	演習	*4	客員教授	美原 融	
	公民連携演習Ⅳ⑮	REG660	2	2	演習		特任准教授	難波 悠	
	公民連携演習Ⅳ⑯	REG664	2	2	演習		准教授	井上 武	

選択必修科目

	授業科目・研究指導	サブタイトル	相 ナンバリング	単位		講義・ 演習の別	英語	職名	担当教員	備考	
				春	秋						
選択科目	PPP総論		PPF618	2		講義		教授	根本 祐二		
	地域分析		PPF619		2	講義		准教授	井上 武史		
	経済学基礎		ECT601	2		講義		客員教授	川崎 一泰		
	公共経済学		PPF603			講義				本年度休講(隔年開講)	
	政策評価論		PPF604			講義			調整中	隔年開講	
	PPP経済理論		ECT602		2	講義		教授	加賀見 一彰		
	金融論基礎		MOF601	2		講義		教授	中北 徹		
	地域金融論		MOF602	2		講義		客員教授	藤木 秀明		
	PPPファイナンス論		MOF603	2		講義		客員教授	金谷 隆正		
	財政学基礎		PPF605	2		講義		准教授	松崎 大介		
	日本の経済財政		PPF606		2	講義		客員教授	市川 正樹		
	PPPビジネスマネジメント論		MAN601		2	講義		客員教授	大西 達也		
	財務分析論		ACC601	2		講義		客員教授	大西 達也		
	地域情報化と地域資源		ECP608	2		講義		客員教授	山田 肇		
	PPP論文研究		SEM601	2		講義		客員教授	五十嵐 誠		
	PPP制度手法論		ECP602	2		講義		客員教授	美原 融		
	環境経済学		ECP603	2		講義		教授	小川 芳樹		
	エネルギー経済論		ECP604		2	講義		教授	小川 芳樹		
	PPPプロジェクト演習Ⅰ		SEM609	2		演習	*4	教授	サム田 測		
	PPPプロジェクト演習Ⅱ		SEM610		2	演習	*4	教授	サム田 測		
	PPPデザイン論		PPF607	2		講義		客員教授	片桐 徹也		
海外PPP実務演習Ⅰ		SEM607	2		演習	*2	特任准教授	難波 悠	注1		
海外PPP実務演習Ⅱ		SEM608	2		演習	*2	特任准教授	難波 悠	注1		
PPP Omnibus Lecture Series I		PPF620	2		講義	*1	特任准教授	難波 悠			
PPP Omnibus Lecture Series II		PPF621		2	講義	*1	特任准教授	難波 悠			
選択科目	シティ・マネジメントコース	シティ・マネジメントⅠ	日本の地方行財政制度	PPF614	2	講義		客員教授	南 学		
		シティ・マネジメントⅡ	地域リーダー論	POL601	2	講義		客員教授	関 幸子		
		シティ・マネジメントⅢ	ICMA 連携科目：世界のシティ・マネジメント	PPF615	2	講義		特任准教授	難波 悠		
		シティ・マネジメントⅣ	バランスバジェット手法実践	PPF616	2	講義		特任准教授	難波 悠		
		シティ・マネジメントⅤ①	公共施設・インフラマネジメント① 政策・計画アプローチ	PPF622	2	講義		教授	根本 祐二		
		シティ・マネジメントⅤ②	公共施設・インフラマネジメント② 工学アプローチ	PPF623	2	講義		客員教授	天神 良久		
		シティ・マネジメントⅥ	地域ビジネスモデル	ECP606	2	講義		客員教授	山田 肇		
	Global PPP コース	Global PPP Ⅰ	海外PPP制度手法論	ECP605		2	講義	*3	客員教授	美原 融	本年度は原則英語で開講
		Global PPP Ⅱ	国連PPP推進局連携科目：世界のPPP政策	PPF610	2	講義	*4	特任准教授	難波 悠	隔年開講	
		Global PPP Ⅲ	English Presentation	SEM606	2	講義	*1	准教授	熊澤 孝昭		
		Global PPP Ⅳ	Global PPP Finance	MOF604	2	講義	*2	客員教授	玉置 知己		
		Global PPP Ⅴ	Asian Economy	PPF611	2	講義	*2	客員教授	玉置 知己		
		Global PPP Ⅵ	世界のインフラPPP	PPF612	2	講義	*3	客員教授	加藤 聡	本年度は原則英語で開講	
PPPビジネスコース	Global PPP Ⅶ	PPP Theory	PPF613	2	講義	*1	特任准教授	難波 悠			
	PPPビジネスⅠ	PPPケーススタディ	MAN602		2	講義		客員教授	藤木 秀明		
	PPPビジネスⅡ	NCPPP 連携科目：世界のPPPビジネス	MAN603			講義	*4			本年度休講(隔年開講)	
	PPPビジネスⅢ①	PPPビジネスプラン① 事業計画	MAN608	2	講義		客員教授	阿部 仁志	隔年開講		
	PPPビジネスⅢ②	PPPビジネスプラン② 政策立案	MAN609			講義				本年度休講(隔年開講)	
	PPPビジネスⅣ	PPPプランニング論	MAN605	2	講義		客員教授	金谷 隆正			
PPPビジネスⅤ	まちづくりビジネス論	MAN606	2	講義		客員教授	矢部 智仁				
PPPビジネスⅥ	財務計画論	MAN607	2	講義		客員教授	五十嵐 誠				

注1 海外PPP実務演習Ⅰ・Ⅱ

<履修要件>

①以下の機関、もしくはこれらの機関と契約しているコンサルタント、サプライヤー、請負等の民間企業、非営利団体の海外PPP担当スタッフであること

- ・国連、世銀、アジア開発銀行、アフリカ開発銀行等の国際機関
  - ・外国政府
  - ・内閣府、外務省、在外公館、JICA、JBIC、DBJ、日本プロジェクト産業協議会等の日本において対外的PPP活動を行っている機関
  - ・その他海外でのPPPプロジェクトに携わっている企業等
- ② PPP総論の単位またはPPP Theoryの単位を取得済みもしくは同等の知識を有すると認められること。
- ③ 上記活動を、遠隔システムまたは電子メール等により担当教員に定期的（月1回程度）に報告し指導を受ける。

英語\*1 常時（英語開講）：外国人履修者の有無にかかわらず常に英語で開講する。

英語\*2 原則（英語開講）：英語による講義を希望する外国人が履修する場合は英語で開講し、そうでない場合は日本語で開講する。

英語\*3 隔年（英語開講）：日本語開講と原則英語開講を隔年で実施する。

英語\*4 混合（開講）：演習において英語による講義を希望する外国人が履修する場合は日本語、英語の混合で開講する。

## 修了に必要な単位等

1) 修了要件となる科目で30単位以上修得すること。

2) 原則として、主指導教授の開講する「公民連携演習」を、毎セメスタ必ず履修すること。

「公民連携演習」は、Ⅰ→Ⅱ→Ⅲ→Ⅳの順に原則毎セメスタ履修すること。長期履修学生および5セメスタ以上在学する場合（Ⅰ～Ⅳを修得済み）は再度Ⅳを履修すること。

## 履修方法

- 履修する授業科目は、入学時ガイダンスおよび主指導教授の指示を受けて決定すること。
- 同一名称の講義科目は、複数回履修・単位修得でき、修得した単位はすべて修了単位として認められる。ただし、授業運営上、履修登録を制限することがある。
- 主指導教授は、「公民連携演習」科目担当教員から1名決定すること。主指導教授の演習は、原則として毎セメスタ履修すること。ただし、主指導教授の演習と同時限に開講されている講義科目を履修するなど主指導教授が指導上必要と認めた場合は、この限りではない。
- 副指導教授は、主指導教授の助言を得て1名または2名決定すること。副指導教授は、当該年度に「公民連携演習」または講義科目を開講している教授・特任教授・准教授・特任准教授・客員教授から決定すること。
- 主指導教授または副指導教授以外の「公民連携演習」は履修することができない。
- 主指導教授または副指導教授はセメスタ毎に変更できる。
- 本表に掲げたものの他、指導教授が教育上必要と認めるときは、学則第8条に基づき、本大学院の他研究科・専攻の授業科目を履修することができる（同一科目は1回目のみ修了要件として扱い、2回目以降の履修によって修得した成績及び単位は認定されるが、修了要件としては扱わない）。  
また、上記により履修し修得した単位は、学則第10条の2に基づく、本大学院に入学する前に修得し、本大学院における授業科目の履修により修得したものとみなす単位（既修得単位）と合わせて、10単位を超えない範囲で修了要件に充当することができる。
- 修了には、修士学位論文または特定課題研究論文の作成、報告会への参加（中間、最終）および口述試験合格が必須である。書式等に関しては下表を参照すること。
- 本専攻が開講する講義・演習は本専攻以外の学生が履修することはできない。
- 遠隔地に居住するため授業開講時間に直接教室で受講することが困難な場合は、自宅や職場のインターネットに接続されたパソコンから、遠隔システムを利用して、リアルタイムで受講することができる。原則として、すべての講義、演習を対象とする。システムの利用を希望する場合は、事前に申し出て許可を得ること。

	修士論文	特定課題研究
趣 旨	公民連携に関連するテーマに関する考察	
目 的	「広い視野に立って精深な学識を授け専攻分野における研究能力を培う」（大学院設置基準第3条）という修士課程の趣旨に沿ったものであること	企業、政策官庁、自治体などに対して提案し相手方に検討を促すものであること
審査項目	以下を総合的に判断する 1 独創性（課題の把握・整理方法、解決方法の独創性） 2 論理的一貫性（解決方法の合理性、論証による説得力、一貫性） 3 理論的発展性（公民連携の制度や手法に対する発展性） 4 適時性（公民連携一般の抱える課題や、提案先が抱える課題への適時性） 5 応用可能性（社会的貢献性）（課題解決に当たり検討すべき諸問題の考察、提案の実現可能性）	
形 式	論文形式	
文 字 数	〔日本語〕目安として60,000字程度以上 〔英 語〕目安として33,000words 以上	〔日本語〕目安として40,000字程度以上 〔英 語〕目安として22,000words 以上